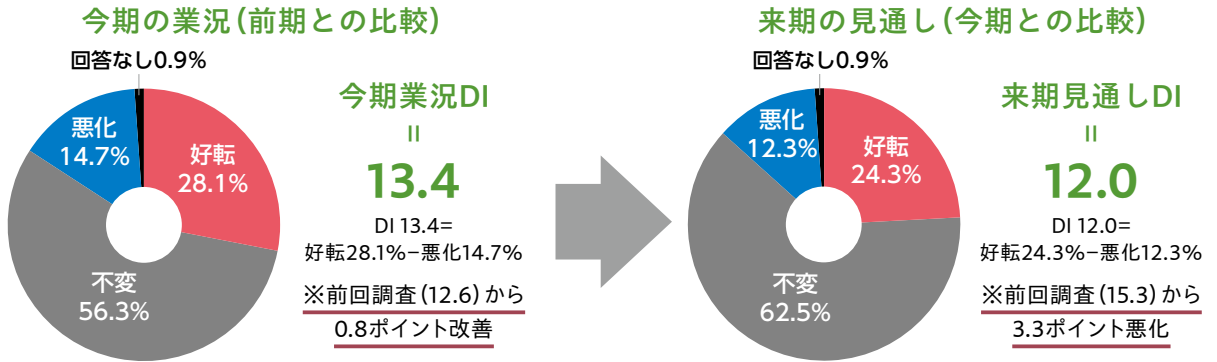


## 世田谷区における中小企業の景況

### 業況

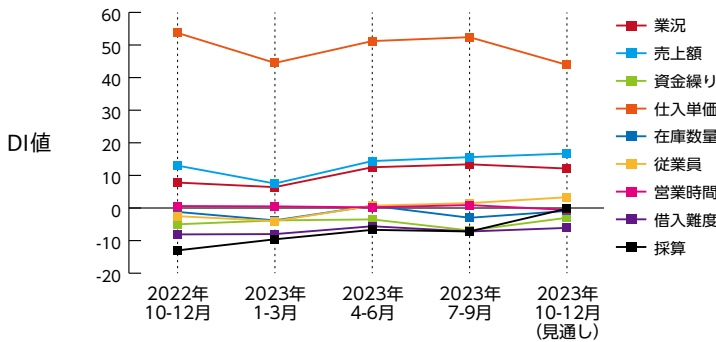
今期(2023年7~9月期実績)の業況DIは、+13.4ポイントで前期から+0.8ポイント改善した。

来期の業況見通しDIは+12.0ポイントとなり、前回調査より▲3.3ポイント悪化する見通し。



### 主な指標別の傾向

今期は、仕入単価+52.4(前期比+1.2)、売上額+15.6(同+1.2)、業況+13.4(同+0.8)、従業員+1.5(同+0.8)、営業時間+0.9(同+0.7)の5指標でポイントが増加したが、それ以外は減少した。来期見通しでは、仕入単価+43.9(当期比▲8.5)、営業時間▲0.6(同▲1.5)、業況12.0(同▲1.4)の3指標で減少、採算▲0.2(同+7.0)、資金繰り▲3.0(同+3.9)、在庫数量▲0.9(同+2.1)など6指標でポイントが増加し改善が見込まれる。



業況	7.8	6.4	12.6	13.4	12.0
売上額	13.0	7.5	14.4	15.6	16.7
資金繰り	▲5.0	▲3.8	▲3.5	▲6.9	▲3.0
仕入単価	53.7	44.5	51.2	52.4	43.9
在庫数量	▲1.2	▲3.8	0.7	▲3.0	▲0.9
従業員	▲2.5	▲4.0	0.7	1.5	3.3
営業時間	0.6	0.5	0.2	0.9	▲0.6
借入難度	▲8.1	▲8.0	▲5.6	▲7.2	▲6.1
採算	▲13.0	▲9.6	▲6.7	▲7.2	▲0.2
	2022年 10-12月	2023年 1-3月	2023年 4-6月	2023年 7-9月	2023年 10-12月 (見通し)

### 主要景況指数表[今期の状況(前期比)]

(注)調査項目：業況(好転⇨悪化)、売上額(増加⇨減少)、資金繰り(好転⇨悪化)、仕入単価(上昇⇨低下)、在庫数量(増加⇨減少)、従業員(増加⇨減少)、営業時間(延長⇨短縮)、借入難度(容易⇨困難)、採算(好転⇨悪化)

	業況	前年同期比	売上額	前年同期比	資金繰り	仕入単価	在庫数量	従業員	営業時間	借入難度	採算
全体	13.4	11.7	15.6	16.7	▲6.9	52.4	▲3.0	1.5	0.9	▲7.2	▲7.2
製造業	14.3	11.1	11.1	12.7	▲3.2	55.6	4.8	3.2	0.0	▲1.6	3.2
建設業	7.5	10.4	10.4	12.3	▲10.4	68.9	▲2.8	4.7	3.8	▲7.5	▲15.1
不動産業	▲5.5	10.9	▲5.5	12.7	▲7.3	30.9	▲3.6	0.0	▲1.8	▲10.9	▲5.5
卸売業	6.8	6.8	5.4	9.5	▲6.8	52.7	▲6.8	0.0	1.4	▲10.8	▲18.9
小売業	19.6	15.0	23.4	24.3	▲7.5	69.2	▲7.5	▲0.9	▲4.7	▲6.5	▲13.1
サービス業	24.1	13.5	30.1	21.8	▲5.3	33.1	▲0.8	1.5	4.5	▲6.8	4.5

### 主要景況指数表[来期の見通し(当期比)]

	業況	売上額	資金繰り	仕入単価	在庫数量	従業員	営業時間	借入難度	採算
全体	12.0	16.7	▲3.0	43.9	▲0.9	3.3	▲0.6	▲6.1	▲0.2
製造業	22.2	19.0	0.0	50.8	7.9	7.9	▲3.2	3.2	15.9
建設業	14.2	20.8	▲0.9	55.7	▲1.9	3.8	1.9	▲3.8	0.0
不動産業	1.8	0.0	▲9.1	27.3	▲9.1	5.5	▲3.6	▲14.5	▲12.7
卸売業	0.0	9.5	▲8.1	45.9	▲1.4	2.7	0.0	▲9.5	▲9.5
小売業	11.2	17.8	▲2.8	56.1	1.9	▲1.9	▲3.7	▲8.4	▲2.8
サービス業	17.3	22.6	▲0.8	27.1	▲3.0	4.5	2.3	▲5.3	4.5

概況：〈DI(Diffusion Index)とは…〉DI(%)=「良い」「増加」等企業割合-「悪い」「減少」等企業割合

DIとは、各設問の項目について、「増加」「好転」したとする企業の割合から、「減少」「悪化」したとする企業の割合を差し引いた値です。したがってDIがプラスを示している場合は、全体として「増加」「好転」とする企業が多く、景況(またはそれぞれの要素)が上向きの傾向にあることを示します。逆にマイナスを示している場合は、景況が低迷の傾向にあることを示します。